

2023年7月10日

株式会社パソナフォスター
代表取締役社長 長畑 久美子

園児の誤飲事故のお詫びと再発防止の取り組みについてのご報告

この度、弊社が運営している保育所である「エデュケアセンター・光が丘」(以下、「本件保育所」といいます)において、園児(1歳)がボタン電池を誤飲する事故(以下、「本件事故」といいます)が発生いたしました。

当該園児につきましては、本件事故の発生当日に行われた処置により、体内からボタン電池が摘出され、現在は通園を再開できるまでに回復されております。

ボタン電池を誤飲した園児及びその保護者様に心よりお詫びを申し上げますとともに、本件保育所に通園をされている全ての園児とその保護者の皆様及び関係者の皆様には、多大なるご不安とご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

弊社は、本件事故を厳粛に受け止め、調査を尽くした上で、再発防止に向けて弊社の管理体制を今一度見直すとともに、弊社の運営する保育所等の施設における安全対策の更なる強化・徹底を図る所存です。

本件事故の内容及び再発防止策等につき、下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 発生場所

東京都練馬区光が丘 2-10-2 エデュケアセンター・光が丘 1歳児保育室

2. 発生日時

2023年5月31日 15時頃

3. 事故内容

本件保育所では、園児が適切な温湿度で午睡をしているかを確認するため、園児の午睡時には保育室内の床面に温湿度計を置いておりましたが、本件事故発生当日の園児が午睡を終えた15時頃、床面に置かれた温湿度計の電池蓋が外れており、その中にボタン電池が入っていないことが発覚いたしました。

そこで、保育士らにおいて、すぐに保育室内及び園児の着衣等を探索いたしましたが、ボタン電池を発見するに至らなかったため、園児による誤飲を疑い、本件事故発生当日に本件保育所のそのクラスで活動していた園児7名の内6名を当園から病院へ救急搬送、1名は保護者が直接病院に連れて行き、検査を実施いたしました。

その結果、1名の園児によるボタン電池の誤飲が確認されました。

その後、当該園児は内視鏡手術により体内からボタン電池が摘出され、本件事故発生の翌日の2023年6月1日に退院されました。

4. 事故の発生原因

- 本件保育所において利用していた温湿度計は、指で電池蓋を取り外すことが可能なものであり、保育に適した仕様の備品の調達・利用を徹底できていなかった。
- 園児の午睡時に園児の周辺の温度、湿度を計測するための温湿度計を床に置いたままにしていた。
- 保育士が、本件事故の発生直前に園児が温湿度計を手をしているのを目にしていたにもかかわらず、保育士間での適切な共有ができていなかった。
- 保育士が、同室内にいたにもかかわらず、保育記録業務のために目を離し、注視できていない時間があつた。
- ボタン電池の誤飲の疑いがあるにも関わらず、園児の身体に影響を及ぼす可能性があるおやつを提供（保育）を実施してしまった。

5. 再発防止策と今後の対応

本件事故の発生を受け、弊社管理部門による各種マニュアルの見直し及び各施設の安全点検を強化・徹底し、危機管理意識の更なる向上に向けた取り組みを実施してまいります。

また、2023年7月3日に東京都の巡回運営指導がございました。その際にいただいた指摘事項についても、より安心いただける保育の実現に向けて真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

なお、本件保育所においては、引き続き保護者の皆様への丁寧なご説明・対応に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社パソナフォスター 管理部
Tel：03-6734-1280

※2023年7月31日 下線部につきまして、訂正・追記いたしました